

## 第70回 森とのふれあい

### 「親子ネイチャークラフト体験」 【1月12日(土)】

冬休み企画として、親子で木工工作、押し花を使ったしおり作り、伸びる紙を使った知床の動植物の立体化を行いました。



当日は9組25名の参加があり、中には帰省を利用して、遠く札幌からの参加者もありました。

木工工作では子供達の想像力のまま、様々な作品が完成しました。

参加した子供達からは、「学校でしおりを使う」「自分の机に飾る」との声があり、保護者の方からも「こんなに真剣な子供達を見たのは初めて」との声も聞かれ、親子そろっての作業に満足の様子でした。

## 知床の樹木

### 春を待つ樹木たち

#### ◆表紙の冬芽解説◆

##### ① ホオノキ

ホオノキは葉っぱも大きく、冬芽の大きさも最大級。

##### ② ハリギリ

その名の通りハリギリの若い枝には針があるので分かり易い。

##### ③⑤ カシワ

カシワは維管束が太く、離層が未発達なため冬になっても葉がなかなか落ちない。冬芽には毛が生えている。

##### ④ イヌエンジュ

イヌエンジュの冬芽はマメ科の木らしく？丸っこい。

## 知床は今



2月22日、斜里町ゆめホールにおいて、ユネスコ世界遺産センター、IUCN(国際自然保護連合)と地域関係団体との意見交換会が行われました。

意見交換会では、知床が世界自然遺産認定時に勧告された課題について、その後の取り組み状況の報告と意見交換が行われました。

全体的に良好な評価を得られたと感じましたが、今後、取り組みを継続するにあたっては、関係機関、団体、地域住民等のより一層の連携が必要だと感じました。

また、この知床を守るには、個人ひとり一人が自然環境に配慮した行動を心がけていかなければならないと感じました。

(朝長)

## 新人紹介

2月1日付けで知床森林センターに新規採用された<sup>ともなが まさお</sup>朝長 正雄です。

出身は長崎ですが、すでに人生の1/3は北海道で生活しています。

採用されたばかりで、知識や経験も足りませんが、イベントなどにおいては、初心者なりのわかりやすい解説が出来るように頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



## 知床の森から

平成20年3月発行 第112号



写真：知床連山

北海道森林管理局 知床森林センター  
〒099-4113 北海道斜里郡斜里町本町11番地  
電話 0152-23-3009 FAX 0152-23-3160  
ホームページ <http://www.shiretoko.go.jp/>



## 知床の樹木

### 春を待つ樹木たち



冬芽とは、春一番に葉をひらくために秋につくられる芽のことで、厚い皮や毛などで冬の寒さから身を守っています。今回は、そんな春を待ち望む知床の冬芽や樹木を集めてみました。

何の冬芽かな？答えは4面にあります。



この広報誌は道産間伐材を使用しています。



## 平成19年度 北の国・森林づくり技術交流発表会 ～コドラート法によるエゾシカの植生食圧調査について発表～

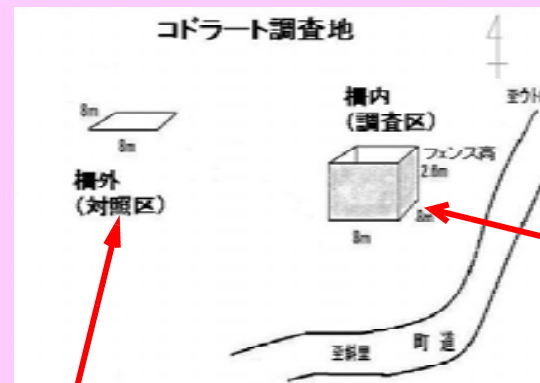
1月24～25日に『平成19年度北の国・森林づくり技術交流発表会』が北海道森林管理局で開催されました。

当センターは、知床半島で問題となっているエゾシカの増加が森林の植生に与える影響を把握するために、町道沿いの国有林内に設置した柵の内外の推移を調査した「コドラート法によるエゾシカの植生食圧調査について」を発表しました。

結果は「優秀賞」。これを励みに今後も継続して調査活動を進めていきたいと思います。

★発表内容を簡単にご紹介します★

【柵内の様子】



←エゾシカの侵入を防いでいるフェンスの中では、丈1m以上もあるササが一面に茂っています。

【柵外の変化】



↑H10には林床一面にササが茂っていましたが、現在はほとんど見られなくなりました。

【柵内外の林床植生の種類数】

|     | 柵内 | 柵外 |
|-----|----|----|
| 草本類 | 22 | 27 |
| 木本類 | 5  | 10 |
| 計   | 27 | 37 |

↑柵外は柵内に比べ、植物の種類が多いことがわかりました。

【まとめ】

|     | 柵内              | 柵外                 |
|-----|-----------------|--------------------|
| 状況  | ササあり            | ササなし               |
| 利点  | 林床に一年を通して植物がある  | 林床が明るく植物の種類が多い     |
| 問題点 | 林床が暗く、植物の種類が少ない | 冬季に植物がなくなり、樹皮被害が増加 |

【結論】エゾシカの適正頭数を保つことが必要

## 第3回 知床永久の森林づくり協議会 ～森林づくり活動等のビジョンを確認～

2月28日（木）、第3回「知床永久の森林づくり協議会」を斜里町公民館「ゆめホール知床」第1会議室で、委員・オブザーバー等約40名の出席により開催しました。

今回は、今年度最後の協議会であり、これまで2回の協議会及び札幌、北見・網走、知床各地区の仕組みづくり部会、有識者等のヒアリング等に基づき検討をしてきました「知床における国民参加の森林づくり活動等の推進に関するビジョン」（案）について、今年度末の策定にむけて確認がされました。



ビジョンは、「国民の財産『知床の森林』をみんなで支え、次世代へつなごう」を基本理念として、①「次世代につなぐ森林づくり」②「知床の森林を通した人づくり」③「みんなで支える仕組みづくり」の3つの柱の基に、地元公共団体や関係者をはじめ、個人、企業、団体等多様な主体の参加・支援をいただき、知床における国民参加の森林づくり活動等を推進していくための取り組みを行っていくこととしています。

これまで、ビジョンの策定にご協力いただいた協議会及び仕組みづくり部会の委員・オブザーバーをはじめ、ヒアリング等で貴重なご意見をいただいた皆様方に感謝申し上げます。

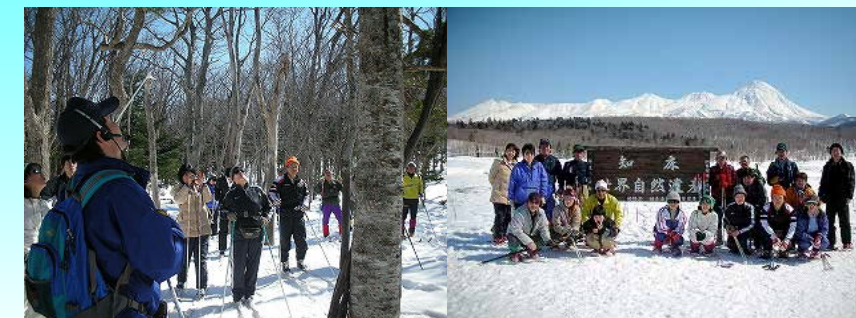
なお、協議会の資料や議事内容については、北海道森林管理局のホームページに掲載しております。

※北海道森林管理局HP (<http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/kyoku/>)

## 第88回 森林レクリエーションin知床 「早春の知床！エゾシカ集うフレペの森を散策しよう」【3月9日(日)】

冬の知床の森林を見て聞いて感じてもらうことを目的に、世界自然遺産区域内にあるフレペの滝周辺を歩くスキーとかんじきを使って散策するイベントを開催しました。

当日は、知床連山と海一面の流水が見られる好天に恵まれ、スノートレッキングにはとても良いコンディションのなか、参加者の皆さんは森林の空気を全身で感じながら、冬を生きる樹木の姿や、そこに棲む野生生物たちの足跡や巣などの痕跡を観察しました。原生林の樹齢数百年の大木や、若木で構成された二次林の中に身を置いた参加者の皆さんは、長い時間をかけて成長する森林のサイクルに思いを馳せている様子でした。



また、普段あまり使うことのないかんじきでの雪上歩行では、悪戦苦闘しながらも楽しまれた様子で「初めて履いたけど楽しい」「昔使ったことがあり懐かしい」などの感想が聞かれました。